

事業名 (箇所名)	鶴川総合水系環境整備事業				担当課	水管理・国土保全局 河川環境課				事業 主体	北海道開発局			
実施箇所	北海道むかわ町				担当課長名	小島 優				評価 年度	令和6年度			
主な事業 の諸元	【むかわ町かわまちづくり】 ・河川管理用通路、高水敷整正、河岸整備、堤防天端舗装整備													
事業期間	事業採択		令和7年度		完了		令和16年度							
総事業費 (億円)	約3.6													
目的・必要 性	<解決すべき課題・背景> 【むかわ町かわまちづくり】 ・第2次むかわ町まちづくり計画(令和3年3月策定)では、「人と自然が輝く清流と健康のまち」をまちづくりの普遍の理念として掲げ、むかわ町都市計画マスタープラン(令和4年3月策定)では、鶴川の河川環境の整備等を通じて、自然緑地や都市景観の形成を目指すことを掲げている。 ・むかわ町まちなか再生基本計画(令和4年3月策定)では、町内の周遊性を高め、町全体で賑わいを創出するために、鶴川地区と穂別地区のヒト・モノ・コトキをつなぐ充実・強化に向けた取組を進める旨が示されている。 ・鶴川地区においては、緩やかな流れのある流況を活かしたSUPやカヌーなどの水上アクティビティや地域の児童等による環境学習、水遊び等の利用ニーズが高い中で、水際に草木等が繁茂して見通しが悪く、段差があるため、安全に水辺に近づくことが出来ない状態になっている。 ・穂別地区においては、隣接する公園「リバーサイドパーク」にイベントやスポーツで来訪する利用者が多いものの、河川空間にアプローチするための動線が狭くなっており、一体的な利用が図られていない。また、水上アクティビティの利用ニーズが高い中で、水際に草木等が繁茂して見通しが悪く、安全に水辺に近づくことができない状態になっている。 ・さらに、鶴川～穂別地区においては、鶴川の良好な景観を眺めながら、鶴川地区と穂別地区とを繋ぐことができるサイクリングルートの設定が検討されている中で、未舗装の堤防天端が存在しているため、サイクリストの移動が困難な箇所が存在している。 <達成すべき目標> 【むかわ町かわまちづくり】 ・むかわ町が目指すまちづくりと一体となって、新たなサイクリングコースの設定に資する基盤整備や水上アクティビティをはじめとするレクリエーション等に活用できる水辺拠点を創出する。 <政策体系上の位置付け> ・政策目標：良好な生活環境、自然環境の形成、バリアフリー社会の実現 ・施策目標：良好な水環境・水辺空間の形成・水と緑のネットワークの形成、上下水道の持続性の確保と機能強化を推進する。													
便益の主 な根拠	【むかわ町かわまちづくり】CVMにより算出(令和6年度) 支払意思額:442円/月/世帯、受益世帯数:68,364世帯													
事業全体 の投資効 率性	基準年度		令和6年度											
	B:総便益 (億円)		53		C:総費用(億円)		3.6		全体B/C (社会的割引率2%) (社会的割引率1%)		14.7 23.0 29.3			
									B-C		49			
									EIRR (%)		23.8			
感度分析	残事業費 (＋10% ～ －10%) B/C(13.4～16.2) 残工期 (＋10% ～ －10%) B/C(14.3～15.0) 便益 (－10% ～ ＋10%) B/C(13.2～16.1)													
事業の効 果等	【むかわ町かわまちづくり】 ・水辺拠点の創出により、水辺利用が安全かつ快適に実施できるようになる他に、民間事業者等が河川環境の魅力を活かした様々な活動を行うことが可能となり、賑わいの創出と地域活性化に貢献する。 ・堤防天端を舗装し、サイクリングロードとして活用することで、利用者が快適かつ安全にサイクリングを実施できる環境を創出し、水辺拠点の整備と合わせて観光周遊性を向上させることで、地域活性化に貢献する。													
その他	<第三者委員会の意見・反映内容> 予算化は妥当であり、付託意見等はない。 <都道府県の意見・反映内容> 鶴川総合水系環境整備事業は、むかわ町のまちづくりと一体となった水辺空間の整備により、新たな賑わいが創出され、地域活性化が図られるため、事業の予算化に同意します。 なお、事業の実施にあたりましては、地域との連携をより進めていただくとともに、コスト縮減に努めるなど適切な事業管理を図り、早期の事業完成に向けて、ご配慮願います。													

鷗川総合水系環境整備事業位置図

